

# 巻 頭 言

## 紀要発行にあたって

仙台青葉学院短期大学 学長  
鈴木 一 樹

このたび本学研究紀要第9巻第2号を発行いたしましたので、皆様方のご高覧に処する次第です。

さて、昨今の少子化の影響等による大学進学率の上昇は大学の大衆化をもたらしました。大学の教員は教育者であるとともに研究者でもあるわけですが、このような大学の大衆化により、入学してくる学生の質の変化に対応した教育力が特に強く求められるようになりました。そのため教員としては研究に軸足を置きにくい状況になっているといえます。論文の内容としても教育内容や教育方法等をテーマとしたものが増えつつあります。

しかし、大学はあくまでも教育と研究、双方の場であり、新しい研究の成果がより質の高い教育の基礎となるということを忘れてはなりません。

平成21年に2学科で開学した本学は、現在7学科を擁するまでになりました。そのため広範な専門分野にわたる研究成果を世に発信することができています。このことは短期大学としては極めて異例のことであり、なおかつ社会的意義が非常に大きいものと自負しております。

紀要は大学にとって何物にも代えがたい知的財産であり、後世まで時を超えて受け継がれていくものです。

今後、本学紀要が学術誌としてさらに充実したものとなることを期待し、私からのご挨拶とさせていただきます。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。